Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

遊んで、学んで、楽しんで！

設置店募集！

2022 冬

「自然が好き」で世界を変える——
公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は
ネイチャーゲームをはじめとする
シェアリングネイチャー活動をとおして
「自然が好き」な人を増やし
人が自然を尊重し共生していく社会の実現を
目指しています。

VOL.38

特集
interview

タジーの森を駆けまわる！

合同会社 新城キッコリーズ代表
田實健一（たじつけんいち）

森の“未来”を創るのだ

Nature Game No.010
目隠しして一列になって探検だ〈目かくしイモ虫〉

Nature Game No.015
自由に森の未来を描いてみよう!〈森の設計図〉

Nature Game No.004
Meet a tree / 木と出会う。〈わたしの木〉

Nature Game No.009
擬態する生きものの知恵を知る〈カモフラージュ〉

Nature Game No.001
大地と一体になり森を見上げる〈大地の窓〉

https://www.naturegame.or.jp/

Contents

●特集／タジーの森を駆けまわる！…p2
●きけんcheck in ネイチャーゲーム・ヒヤリハット小話…p7
●ネイチャーゲームあるある／〈大地の窓〉…p10

SharingNature®
「自然が好き」で世界を変える
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会

スポーツくじ
WINNER LOTO BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています

タジーの森を駆けまわる！

●取材・文／茂木奈穂子　●イラスト／いのうえみさお

特集
interview

合同会社 新城（しんしろ）キッコリーズ代表
田實健一（たじつけんいち）

愛知県指導林家、ネイチャーゲームリーダー、自然公園指導員、自然観察指導員。オートバイで全国を旅する途中、中越地震に遭遇。壮絶な自然災害を目の当たりにし「災害に強い山を作りたい」とIターンをして17年前（2005）に林業の世界へ。生態系を崩さず、かつ事業として成立する森づくりをめざし7年前（2015）に起業。持続可能な森林経営をめざす森林業を営む。

「木こり」と聞いて、どんな仕事をイメージしますか？〝木こりのタジー〟として、森林の手入れ、薪の生産はもちろん小・中学生の森林体験や環境教育、市場で売れない木材の活用事業などを展開し、ネイチャーゲームリーダーとしても活動している田實健一さん。日々、新たな林業の確立に奮闘している田實さんにとって木こりとは？ 理想の森とは？ どんな姿なのか伺いました。

子どもたちの歓声が森にこだまする

「田實先生じゃなくて、木こりのタジーって呼んでね！」

新城市内の小・中学生向けの森林環境授業で冒頭、そう自己紹介する新城キッコリーズ代表の田實さん。

「授業ってなると、僕は〝先生〟になっちゃって、引率の先生も子どもたちに『田實先生の話をちゃんと聞きなさい！』となる。森のこと、林業のことを伝えるためにまじめな話もするけど、僕としては森に来て何か興味を持ってほしい、みんなが最後に『楽しかった！』って言ってくれる授業をしたいと思っています」

授業にはネイチャーゲームや伐採体験、木の年輪をイメージできるバウムクーヘンづくりなども盛り込まれ、とても楽しそう。子どもたちのはしゃぐ声が聞こえてきそうです。

「僕はネイチャーゲームを森のことを伝える一つの手段として活用しているんだけど、すごく効果的です。〝森ってどういうところ？〟が知識ではなくて、体感で子どもたちにスッと入っていく。

それに、自分なりに考えるし、周りの人との考え方の違いもわかってくる。間違ってないんだ！ そういう考え方もあるんだ！っていう気づきがあるんです。僕の経験不足で、できるネイチャーゲームが少ないのが残念なんですけどね（笑）」

授業は雨が降った場合の予備日も設定して、必ず屋外。それは座学ではなく、森での体験を重視している田實さんのこだわりです。

「授業で森の中を突然走ってみたりするんですよ。そうすると子どもは『なんだ？ なんだ？』って走る。それが、楽しいんですよ。校庭よりも速く走れたような感じでね。引率の先生は、『走ったらダメ！』って言うんだけど、『いい、いい、走れ！ 走れ！』って。僕、先生じゃなくて、木こりなんで（笑）。

森で何かあったら、走れないほうが危ないでしょ。あらかじめ危険なものは全部取り除いておくけど、滑って転ぶくらいはよくあること。学校で教わらないこういう体験も、僕たちが教える必要があるのかなと思っています」

ネイチャーゲーム〈フィールドビンゴ〉で木や土の匂いや感触、風や木もれ日などを五感で味わってほしい！

森を
デザイン
する

あるときは デザイナーのタジー

1本の木の伐採で 残された森が変わる

キッコリーズのある愛知県新城市は約83%が森林で占められ、そのほとんどが人工林。現在は30年間放置されていた山に入り、間伐と伐り出された材の搬出、販路構築をしています。

「丸太をつくるために、何も考えずに木を伐って、また苗を植える……。するとこの森はどうなるか？ 残った木が育ち、根が伸び、水を貯え、植物が生え、土が肥えたとしても、さまざまな生きものが暮らせる森、災害に強い森はつくれません」

林業を成立させるために、木材生産は必要。でも同時に、森を守ることも必要だという田實さん。自らの業種を〝森林業〟と呼ぶ理由もそこにあります。

伐採のために山に通す道幅は2m程度で、重機の幅は軽トラック1台分くらい。もっと広い道、大きい重機であればより多くの材を搬出できますが、木を伐りすぎないよう、傷めないようにと森の未来に配慮した結果です。選木や伐倒も、いかに森を守るかが基準の一つだそう。

「どういう森に仕立てていくか、ゴールも正解もわかりづらい。このままの森でも、誰も痛くもかゆくもないけれど、100年続く森にするには？ という視点なしでは、残った森の価値は下がってしまいます」

温泉を沸かす薪として
加工された枝虫材

枝虫材キーホルダーは
自社製。ロゴマークの
刻印がかわいい！

そしてまたあるときは 木材商人のタジー

枝虫材を、利益を生む木材に変換！

新城キッコリーズが伐採する木の90%はカミキリムシの幼虫が食べた跡が残る枝虫（えだむし）材。成虫が枯れた枝の根元に卵を産み、幼虫になって木の中を食害したもので、強度に問題はないものの、見栄えが悪いので市場では売れない材として扱われます。

伐った木が売れなければ、木こりは生きていけません。田實さんは、この枝虫材の有効活用、ブランディングも事業として行っています。

「起業当初、市場ではまったく買い取ってもらえなくて、どうしようと思っていたとき、地元の湯谷温泉で、冷泉を沸かすために薪のボイラーを導入することになったんです。本当に奇跡的なタイミングで話が進み、燃料として買い取ってもらえたんです」

財を生む
森にする

環境への影響を最小限に抑えるため、柔軟にそして熟考して木を選び、伐っていく。そこには〝森のデザイナー〟としての田實さんの顔がありました。

森の〝未来〟を創ること！

森の〝今〟だけじゃなく

伐った木を薪にして使ってもらえれば、地元に貢献もでき、利益も出る。一つの道が開けたのです。新城キッコリーズの口ゴマークが燃えるヒノキ（火の木）をモチーフにしているのも、なるほど、こうした歴史があるからなんですね。

さらに、薪にするために積んであった丸太を見た工務店が「燃やすのはもったいない」と買い取ってくれたのをきっかけに、市場でも売れはじめて、少しずつ利益が出てきているのだとか。

「僕たちが伐った枝虫材を複合施設の屋上菜園のプランターやカフェの内装材にしてもらったり、この材でモデルハウスを建てたいという工務店さんも出てきました。枝虫材を負のものではなく、自然（生きもの）がつくった芸術・模様として、それが個性・味わいだと思って、あたりまえに使ってくれる人が増えるとうれしいですよね」

雨で現場作業ができない日は、残った丸太をおしゃれなプレートに加工してイベントで売ったり、森林環境授業で子どもたちにプレゼントしたり。枝虫材の価値を上げながら、利益を生むアイデアを常に模索しています。

左から小柳津さん、田實さん、柴田さん。
森の中でも目立つ真っ赤なTシャツにロゴマークのユニフォーム

感性と思考力を併せ持った木こりを増やしたい

新城キッコリーズは田實さんを代表として、柴田健司さん、小柳津（おやいづ）孝之さん2人の木こりも働いています。田實さんの森に対する思いや理念に惹かれ、異業種から転職してきました。

チェーンソーを持つ姿がすっかり様になっている2人ですが、森の未来を見据えてデザインしながら、選木・伐倒をするにはまだ経験が必要だと田實さんはいいます。

「森づくりって正解があってないようなもので、教える側も教わる側も難しい。たとえば2本の木のどちらかを伐るとなると、人によって意見が分かれることがあります。

『今、チェンソーを持って伐ろうとしているけど、本当にそれでいいの？ もう一方を伐らなくていいの？ 何でこれを選ぶんだ？』ってひたすら考えろよって言っています」

だからといって、田實さんの考えと同じであることが良いというわけではないとも続けます。

「選木には森の未来のイメージが大切なので、どんな森にしたいかを共有するようにしていて、新城キッコリーズとしての考え方や方向性を理解した上で、全員が〝それいいね〟となることが理想です。なので、僕の考えを気にしすぎずに、森の未来をイメージした選木・伐倒ができるように〝自分なりの考えを持つこと〟、これが彼らの今の課題です」

正解にとらわれず、お互いの考えをわかちあう感覚を身につけるにはネイチャーゲームが適していると田實さん。そして、その感覚を林業界にも広めようと市の森林課にかけ合い、ネイチャーゲームリーダー養成講座を市主催で行う企画も進めています。新城キッコリーズの2人にもリーダー資格を取得してもらいたいのだとか。

木こりとしての感性と思考力、そして自ら行動する力。それらをどう磨いていって、仲間を育成するかも田實さんのこれからの仕事です。

森林環境授業では枝虫材の存在を子どもたちに知ってもらうことも

はたまたあるときは 社長のタジー

仲間、人材
を育てる

そしてなにより子どもたちに大人気 表現者のタジー

答えを教えるのではなく、子どもたちに考えてもらう

より良い森の未来を願い、子どもたちに伝えたいこと

森そして林業の、今とこれからを多くの人に知ってもらいたいと、さまざまな形で発信している田實さん。とくに子どもたちへのメッセージや問いかけを大切にしています。

「枝虫材を〝虫が食べた材〟とか、〝売れない材〟とはいわないほうがいいのかなと考えることもあります。『これ、ダメって言ってた木じゃん！』って子どもたちに思われるのは本心じゃないので、伝え方って本当に難しいと思っています」

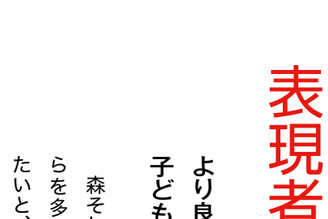
でも、知ってもらうことで、現在の森の問題を考えるきっかけになり、いつかこの地域の山を『どう生かしていこうか』と考えられる大人になってほしいと願っています。

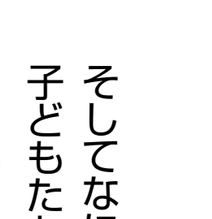
「お金にするために木を全部伐ってもいい？ イノシシやシカはどうなっていく？ 森に暮らす生きものに迷惑かけないで木を高く売るにはどうしたらいい？ でもその木に虫が入ってて、生きてくためだけど、この虫を殺虫剤で全部殺していいの？ 共存しようと思ったら何をしていけばいいの？ って、どんどん問いかけます。

答えはすぐに返ってきませんよ。でも、子どもたちが大きくなったときに『田實さん、こうしたらきっといいですよ』って言ってくるのを心待ちにしているんです」

森林業を発信する

人と森が共存する





理想は、だれもが訪れることのできる恵みの森

最後に田實さんが考える理想の森の姿を尋ねると……。

「〝伐らない林業〟ってできないかなと。今より少ない本数しか伐ってないのに、売り上げは倍みたいな。木こりが生活するための利益を生みつつ自然を壊さない、バランスが取れた森。それが人間＝木こりと森が共存できる世界だと思います」

そして、もっと人が気軽に入っていける森が増えたらとも。

「森は人間の都合で〝入りやすくした〟〝庭〟ではないんです。森は植物があって、虫がいて、動物がいて、多様性そのもの。ときには危険なこともありますが、安全のために排除するのではなく、危険があることを前提にして〝入りやすい森〟をつくっていきたいですね」

だからこそ、木こりのような案内人が絶対に必要だと田實さん。子どもたちへの授業は、そんな森への初めの一歩なのかもしれません。

「今度、市内の小学校の授業で、〈自かくしイモ虫〉をやるんです。場所はいつも子どもたちが遊んでいる学校の裏山。本当にこの森のこと知ってる？ この木、どこにあるかわかる？ て聞いたら、どういう反応が返ってくるか、今から楽しみなんですよ」

木は「倒す」のではなく「寝かす」…愛ある木こりの言葉を伝える田實さん

森の未来を描く NatureGame

〈森の設計図〉

もし、自分の森があったら？ いろいろな森の姿を思い出しながら、どんな森にしたいかを自由に描くゲームです。森の中の生きもの、木、葉、実など自然界のつながりを考えながら自分だけの森をイメージしてみましょう。

↓〈自かくしイモ虫〉はこちらへ

! きけんCheck リスクを見つけよう！

in ネイチャーゲーム

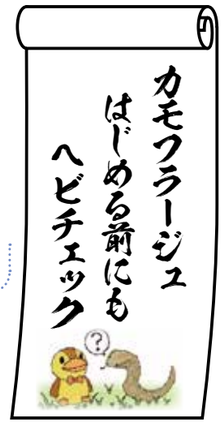
危険予知トレーニング

ネイチャーゲーム〈わたしの木〉の活動をしています。イラストのワンシーンに潜む「リスク（あぶないもの・こと）」を見つけて印をつけましょう。解説は次のページへ。●イラスト：檜山知弘（woodyhouse designs）

↑〈わたしの木〉はこちらへ

ヒヤリ ハット 小話

カモフラージュはじめる前にもヘビチェック



広島県福山市のとある公園での出来事。

私が「福山シェアリングネイチャーの会」に入るより前なので、20年以上前から語り継がれているヒヤリハットです。

いつもどおりゴミ掃除と安全確認をして、人工物セットして活動スタート！ いざ〈カモフラージュ〉をはじめると、参加者の男の子が「あー、ヘビがいる！」と叫びました。スタッフが駆けつけると、なんと「マムシ」が！ 大急ぎで、でもマムシを驚かせないように静かに子どもを退避させて、事なきを得ました。

スタッフ一同、肝を冷やしながらも、ハアーっと胸をなでおろした貴重な体験として、今でも語り草になっています。フィールドは常に変化するので、危険が潜んでいることを忘れてはいけませんね。

小笠原 康成
福山シェアリングネイチャーの会
安全情報の共有担当者（広島県）

←〈カモフラージュ〉はこちらへ

【全国ヒヤリハットレポート 2022】

野生の猿が寄ってきたので、大きな音を立てて追い払った（3月：山口）／落ち葉を投げ上げて遊んでいるとき、枝が混ざっていてヒヤリ（1月：愛知）／公園の土手の向こうが崖で、ハラハラ（4月：熊本）／雨上がりの道が滑りそうだった（6月：東京）／前の利用者が落とした薪の留め金具に、足をひっかけて転んだ（8月：広島）／6歳男児がバランスを崩して坂を転がった先で、バラの棘に当たる寸前で止まった（2月：沖縄）／風が強くてテント（タープ）が飛びそうになった（2月：山口）

Report

シェアリングネイチャーウェルネスセミナーに参加して

Event Report 1

2022年10月15日
佐野悦子（東京都）

普段はセルフでやることが多いシェアリングネイチャーウェルネス。しっかり体験し、学びたいと思い、参加しました。

「みどりいくつ」や「カメラゲームひとりバージョン」、『空と大地が私に触れた』にあるアクティビティなどを、じっくり時間をかけて、たくさん行うことができました。

終わってみて感じたことは、皆さんとシェアをすることで、ひとりのときとはまた違う体験になるということ。

まさにシェアリングネイチャーな体験でした。

北東北3県合同フォローアップセミナー

Event Report 2

2022年11月5日
安藤聖子（岩手県）

雪を被った岩手山に見守られ、色とりどりの落ち葉を味わい、晩秋の森に夢中になりながら、フォローアップセミナーで、いつも楽しみな新アクティビティを体験しました。

講師のフローラーニングとウェルネスの癒しで、盛り沢山の内容もあっという間に感じられました。そして、東北の愛すべき仲間と集うのも3年ぶりなので、あちらこちらで貴重な情報交換も交わされていました。

自然が好きな仲間と集えた喜びに浸り、明日への活力を充電できたセミナーでした。

被災地復興支援情報

つながろうニッポン! 2011 NATURE GAME

「さかもと今昔おさんぽ会」を開催。「お茶の時間」を過ごしてリフレッシュ

2022年9月24日
幸山昌生（熊本県協会）

令和4年9月24日㈯、八代市坂本町鶴喰（つるばみ）の生活改善センターを拠点に「さかもと今昔おさんぽ会」が開催され、私たち熊本県シェアリングネイチャー協会メンバーも「お茶の時間」を開きました。

球磨川本流に注ぐ支流（鶴喰川）にはホタルが飛び交い、その清らかな水で育まれた『鶴喰米』は高い人気があります。

坂本町にはなんと75の集落があり、この「おさんぽ会」はその地域に伝わる歴史・文化・自然を〝昔と今の視点で見つめ直す〟目的で、今回が3回目になります。

主催の「いまかっ隊ネクスト部」（坂本住民自治協議会）さんは、被災者が直接会って心身ともに元気になれる機会になれば、と始められ、おさんぽ前に毎回、地域の歴史をスライドでわかりやすく解説しています。

この解説があることで、参加者・住民の皆さんがともに〝タカラモノ〟と出会う楽しみがわき、誰もがワクワクした時間を過ごせます。

また今回も、全国からご当地銘菓やコーヒー、お茶、メッセージなど、応援のお気持ちをたくさんお届けいただき感謝いたします。

前回はウクレレビギナーズによる無謀な（笑）ライブもあったりして、毎回趣向を凝らした内容になっています。

「今昔おさんぽ会」に、ぜひお越しください〜。一緒に楽しい「お茶の時間」を過ごしましょう!

News

リアルで集おう! 第32回全国ネイチャーゲーム研究大会in徳島

「くらし･文化･であい〜徳島の自然と共に〜」

4年ぶりの集合型全国研究大会!
今年こそリアルで集って、体験・交流しましょう。

- ●日　程：2023年6月9日(金)～11日(日)
- ●会　場：ホテルサンシャイン(徳島市)
- ●参加費：45,000円前後(調整中)
- ●定　員：80名(先着順)
- ●申し込み開始：2023年4月3日(月)

専門委員会報告

■指導者養成委員会ー10月25日(火)

- ◆コーディネーター研修の検討
- ◆指導員報2023年度版の検討
- ◆フォローアップセミナー2023の検討
- ◆トレーナー研修2022の検討
- ◆指導員制度の見直し
- ◆トレーナー養成課程の見直し

他

新ネイチャーゲームトレーナー誕生!

今年度1名のネイチャーゲームトレーナーが誕生しました。今後、各地で開催されるリーダー養成講座やフォローアップセミナーの主任講師を努めます。

原　令子（岐阜県）

ネイチャーゲームショップ年末年始セールのお知らせ

- ●期　間：2022年12月28日(水) 午前10時～2023年1月10日(火)午前10時まで
- ●特　典：セール期間中、1,000円お買い物毎に“おさんぽしおり冬”を1枚プレゼント

※年末年始に伴いネイチャーゲームショップは12月28日から1月3日まで休業とさせていただきます。ご注文は休業中も受け付けておりますが、休業中のご注文は1月4日以降、順次発送いたします。

日本シェアリングネイチャー協会事務局年末年始休業のお知らせ

▶2022年12月29日(木)～2023年1月3日(火)

自然あそび情報がスマホに届く!! 公式LINE!

あなたのスマホに自然遊び情報やネイチャーゲームアイテムが届きます! QRコードを読み込み、LINEの“友だち”に追加してください。

- ●アカウント名：日本シェアリングネイチャー協会
- ●ID：@979bwixf

あなたの家で眠る「お宝」を社会貢献に!

皆様のご家庭で眠っている不用品をお送りいただくと、査定額が日本シェアリングネイチャー協会に寄付されます。

対象となる「お宝」は、ピアノや骨董品、未使用のはがきなど幅広いです。

会員の方には本誌に案内チラシを同封します。会員以外の方は下記までお問い合わせください。
jimukyoku@naturegame.or.jp(担当：渡辺)

解説編

きけんCheck in ネイチャーゲーム

危険予知トレーニング

いくつリスクが見つかりましたか?
たくさんのリスクの中から、次の6つについて解説します。

3 写真を撮っている人がいる

一般の方が活動の様子を写真に撮ることがあり、人権（個人情報）への配慮が必要です。

2 かかり枝がぶら下がっている

樹木のかかり枝が落ちてきて、大けがをすることがあります。かかり枝は、大きさの大小にかかわらず、頭や顔に当たると重大事故になる可能性があります。

1 ムカデがいる、ツタウルシがはえている

木を触る際に、かぶれる植物や触れないほうがよいムカデなどの生きものがいることも。見えていなくても突然、虫や生きものが出てくることがあります。

4 後ろから押している。しかも斜面で崖のそば!

目隠しをすると、普段と比べて足元が不安定になるので、斜面地での転倒や崖への滑落などが想定されます。後ろから押されて誘導されると、相手は不安を感じます。

5 カラスが荷物を狙っている

カラスが荷物や食べものを狙い、持ち去ったり攻撃をしてくることがあります。とくに子育て期は攻撃性が高まることがあり、生きものの生態を理解することが必要です。

6 参加者を見ずに手を引っ張っている

参加者の様子を見ずに移動すると、転ぶ・ぶつかるなどのけがにつながるだけでなく、手を引っ張られることで参加者が怖い思いをします。参加者の状態（服装だけでなく表情や動き）、周囲の情報（転倒のおそれや生きものなど）を観察しましょう。

column

立場・役割によって変わる目線

解説者

峯岸 由美子
安全対策委員長
一般社団法人遊心代表理事
ネイチャーゲームトレーナー

〈わたしの木〉では指導員がどのような役割を担っているかで把握するリスクは変わります。

例えばあなたが参加者を木へ案内する場合には、活動場所に大きな事故につながるものや危険な状態はないかを下見でチェックし、参加者が不安や恐怖を感じないよう、安心して活動できる「誘導・声がけ・動線」を考えることが主となります。

また、進行役として、参加者同士で案内してもらう場合には、活動全体を見ながら、危険な様子のペアがいないか、潜在（隠れている）リスクがないかにも注意を払います。行動範囲や時間を管理しながら参加者が適切に自然と向き合えているかを把握し、ほかの一般利用者や施設管理者とトラブルにならないようにする配慮も必要です。

自然から元気をもらう

ジョセフ・コーネルの Sharing Nature Wellness

シェアリングネイチャー ウェルネス

〈感覚の輪〉

イラスト／いのうえみさお

〈感覚の輪〉は、自然との一体感を感じるための、直感的な感覚を意識的に強めるのを助けてくれます。このエクササイズをした後、私は生きものを育むこの惑星と調和した感覚を強く感じることができました。

＊ 座ったら目を閉じて、自分の体を感じ取ります。すぐまわりの生きものの音に耳をすませます。遠く、また近く。

＊ 目を開いて、意識を 1m くらい離れたところにある草や石や昆虫にまで広げます。できれば、見るものすべてが自分の一部であり、自分の体であると感じてみてください。

＊ 1 分くらい続けてみましょう。他のことを考えていることに気づいたら、静かに目の前のものに意識を戻してください。

＊ リラックスして、近くの草や石から、近くの樹木へと、自分のペースで注意を移してみましょう。

＊ 視線を徐々に遠くのものに移していき、意識もさらに広げていきます。50m から 100m、さらに山の端から広大な青空にまで広げましょう。

このエクササイズは、楽しいと思える間、好きなだけ続けてください。初めての方は 10 ～ 15 分やってみてください。

Joseph Cornell
1950 年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て 1979 年『Sharing Nature with Children』発表。以後、世界的なナチュラリストとして活躍。当協会名誉会長。

今年は会える！

公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会

第32回 全国ネイチャーゲーム研究大会

2023 6/9 FRI～11 SUN in 徳島

くらし・文化・であい ～徳島の自然と共に～

4年ぶりの集合型全国研究大会です！古くからの文化と伝統を継承し、発展させてきた徳島。

〈分科会〉

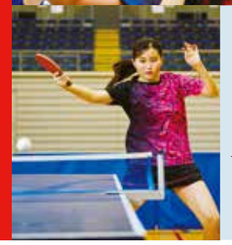
- A 吉野川の恵を味わう
- B 吉野川干潟＆ひょうたん島クルーズ
- C 空海の道と徳島の伝統
- D かぜさんと遊ぼう！

日　時● 2023年6月9日(金)15:30～11日(日)12:00
会　場● ホテルサンシャイン（徳島市南出来島町2-9）
募集定員● 80名(先着順)
参加費● 45,000円前後
申し込み開始● 4月3日

↓詳細及び申し込みは

すべてのスポーツにエールを

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ WINNER toto BIG

19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

合図の笛

ネイチャーゲーム 〈大地の窓〉

とは…

仰向けに寝転んだパートナーの全身を落ち葉で包み、目の周りにだけ窓をつくってゆっくり過ごしてもらいます。ぜひ枝も使いながら、顔の上に落ち葉の屋根を整えてみて。乾いた落ち葉がたっぷりの冬におすすめです。

〈大地の窓〉の情報はこちら

ネイチャーゲーム あるあるあるある 〈大地の窓〉編

たっぷりの落ち葉の中に埋まっていると、「そこにいる」ってホントにわからない。かくれんぼで絶対見つからないやつかも…。踏まれたりしないよう、見守り大事です。

マンガ／がみ

読者プレゼント！ Present

アンケートに答えてシェアリングネイチャーグッズをゲットしよう！

応募締め切り：2023年1月25日

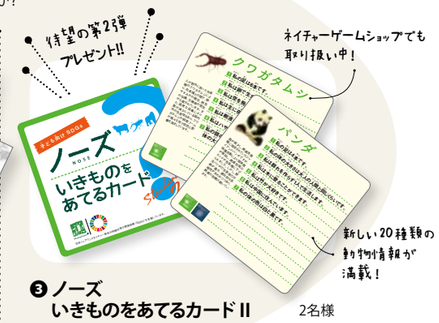
❶ タジーの森の カケラプレート 3名様

乾燥で割れてしまった輪切り材を何かに活かせないか、と生まれた小物置き。木と作り手のぬくもりが感じられる作品で、特集にご登場いただいた合同会社新城キッコリーズ製作。
（1,500 円税込／合同会社新城キッコリーズ）

A3 サイズのイラストにリスクがいっぱい隠れています。

❷『危険予知トレーニング ワークショップ 素材集』 2名様

安全対策の専門家が作成した、自然遊びに潜むリスク（危険なもの・こと）を見つけるトレーニング教材。11の身近な外遊びのシーンを描いたワークシートで「きけんCheck」しましょう！（1,100円税込／NPO法人北海道自然体験活動サポートセンター）



❸ ノーズ いきものをあてるカードⅡ 2名様

生きものの特徴や生態をヒントに、生きものを推理するネイチャーゲーム〈ノーズ〉をもとに考えられたカードゲーム。たくさんの声にお応えして、この冬、第2弾が登場です！
（1,540円税込／ネイチャーゲームショップ）

アンケートは
◆HPから
https://www.naturegame.or.jp/
◆メール・FAXでも
kawauso@naturegame.or.jp
FAX 03-5363-6013

メール・FAXの場合は下記をご記入ください
【アンケート項目】
1. お名前 2. ご住所（会員番号） 3. 本誌の評価（A.とても良い／B.良い／C.普通／D.良くない） 4. 良かったコーナー 5. プレゼント希望（❶❷／❸） 6. ご意見・ご要望 7. 本誌をどこで入手しましたか？

自然を楽しむグッズがいっぱい！ ネイチャーゲームショップ 検索 click！

すぐできるネイチャーゲーム vol.38

待ってた！教材の付録!!

好きな木や実のなる木を植えたり、遊び場を作ったり、
生きものが暮らせる環境を整えたり・・・
100年続く、素敵な森をデザインしてね！

〈森の設計図〉の
情報はこちら

新城キッコリーズ プレゼンツ 〈森の設計図〉

新城キッコリーズが間伐した、「あなたの森」の未来を描いてみよう。

シェアリングネイチャーライフ Vol.38　通巻 119 号
発行日　2022 年 12 月 25 日
発行人　日置光久

発行所　公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会
〒160-0004　東京都新宿区四谷4－13－17
ワークスナカノ2階
Tel. 03-5363-6010　Fax.03-5363-6013
メール　jimukyoku@naturegame.or.jp

編集：藤田航平・豊国光菜子、校條 真（風讃社）
デザイン・DTP：花平和子
表紙イラスト：矢原由布子

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

設置店募集！　ご連絡ください！

編集後記▶「この道は僕が作ったんです」と案内してもらった道は幅2m。実は、山や木々への負担を抑え、作業効率も上げる工夫がギュッ！と詰まった「人と森の未来に続く道」でした。詳しくはブログで！笑（藤田）

スポーツくじ
WINNER toto BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています